

新任ドクター紹介

病理診断科

江嶋 梢

えしま こずえ



2008年 愛媛大学卒

専門分野／病理診断

専門医・認定医等／

- 日本病理学会病理専門医
- 日本臨床細胞学会細胞診専門医
- 日本病理学会病理専門医研修指導医
- 死体解剖資格
- 医学博士

趣味・特技／ピアノ・読書・剣道(三段)・茶道(初心者)

博多湾に面した福岡で生まれ育ちまして、海に近い湘南地区で働けることを嬉しく思っています。正確・迅速な病理診断を目指しています。医療の質の向上に貢献できるよう努めます。よろしくお願いします。

病院通信

人間ドック・健診センターで事前の**WEB問診**が始まりました
受診されるお客様は、あらかじめ「WEB問診」を行っていただきます。

- ①ご予約後、事前に受診案内が郵送されます。
- ②受診案内に記載の「健診アプリ」をインストールしていただきます。
- ③アプリ登録後、WEB問診を行ってください。

※WEB問診は検査の前日までにお願いいたします。

健診アプリの「登録方法・操作方法」について
お問い合わせ

右記のQRコードよりお願いします。



人間ドック・健診センターの予約・お問い合わせ

完全予約制

☎ 0466-35-1360

受付時間：【毎週月曜～土曜】(日・祝日を除く)
14:00～17:00まで



ホームページ

健康保険組合などの団体や事業所に所属の方は、申し込み方法を勤務先にお尋ねください。

担当者の
ひとりごと

マーケティング課

次号より、広報誌は新たにリニューアルする予定です。
現在までの担当者ひとり体制から広報誌制作メンバーによる共同体制で心機一転、新しい形で制作してまいります。お楽しみに！

救急外来は年中無休・24時間診療



湘南藤沢徳洲会病院
Shonan-Fujisawa Tokushukai Hospital

〒251-0041 神奈川県藤沢市辻堂神台1-5-1
TEL:0466-35-1177(代表)
JR辻堂駅北口徒歩8分、テラスモール湘南北側



湘南藤沢徳洲会病院
Shonan-Fujisawa Tokushukai Hospital

TAKE
FREE

2025
8

PAPER Vol.123

MARINE



特集 病理診断科



発行 2025年8月1日 湘南藤沢徳洲会病院 マーケティング課

表紙：病理診断科

病理診断は、診療医療の中でも究極の確定診断や精密検査と言われています。病理診断による裏付けがあることではじめて、患者さんに最良な治療を提供することが可能となり、また臨床医が診断に迷う難解な症例も病理診断が解決してくれることも多いです。

胃(低分化腺がん／印環細胞がん)

卵巣(漿液性腺がん)

肺(ALK、FISH)

甲状腺(乳頭がん)

膀胱(尿路上皮内がん)

精巣(絨毛がん)

乳房(エストロゲン受容体)

乳房(HER2受容体)

乳房(プロゲステロン受容体)

乳房(HER2 DISH)

リンパ節(形質芽球性リンパ腫)

前立腺(PIN4染色)

腎臓(IgA腎症)蛍光染色

前立腺(腺房腺がん)

子宮頸部(コイロサイトーシス)

軟部(悪性末梢神経鞘腫瘍)

乳腺(浸潤性乳管がん)

乳腺(浸潤性小葉がん)

当院が「神奈川県がん診療連携指定病院」の指定を受けるため、必要な病理診断の質を上げるために島根県から地元の藤沢市に招聘されました。患者さんが最適な治療法を選択ができるように、正確で質の高い病理診断を行うよう心がけています。



病理診断科 部長

石川 典由

いしかわ のりよし

藤沢市鶴沼出身

2000年 島根医科大学卒

専門分野／病理診断

専門医・認定医等／

- 日本病理学会病理専門医
- 日本病理学会研修指導医
- 日本病理学会学術評議委員
- 日本病理学会分子病理専門医
- 日本臨床細胞学会細胞診専門医
- 日本臨床細胞学会細胞診教育研修指導医
- 死体解剖資格
- 医学博士

見えない病気を見つける仕事：病理診断 科の検査とは？



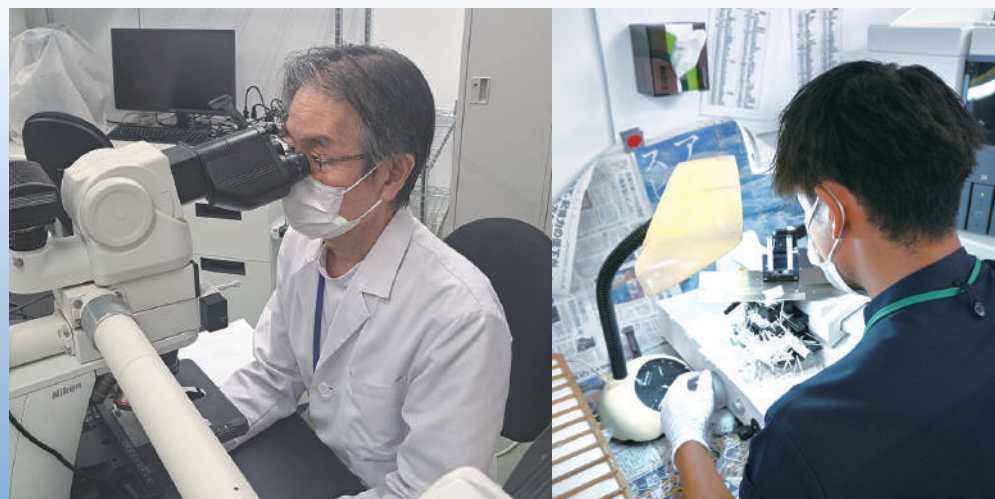
特集 病理診断科

細胞診断



1個1個の細胞を観察することによって、その細胞が腫瘍なのか、腫瘍であればがんなのか、ウイルス感染細胞のかなどを判断します。尿に含まれる細胞を見て判断したり、小さい針で採取されるので、一般的に組織診断と比べて患者さんに対する負担が少ないです。

組織診断



いろんな細胞が集まった構造物を観察するので、細胞診断よりも詳細な情報を得ることが出来ます。たとえば、大腸がんの手術検体からは30種類程度のがんの情報を提供することが出来るため、臨床医はそれを元に最適な治療方法を選択することが可能です。組織診断の中には右に示すように、免疫染色や遺伝子検査も含まれます。

免疫染色



がん細胞で発現するタンパク質が、がんの種類によって異なっており、同じ腫瘍であっても患者さんによって発現のパターンが異なります。これを調べることで、患者さんそれぞれに対する治療法が大幅に変わる可能性があります。ときに原発不明がん(体のあちこちに転移したがんがあるが、どこの臓器から発生したか分からない)と診断される患者さんがいますが、免疫染色を行うことで原発部位を絞りだすことが出来ます。

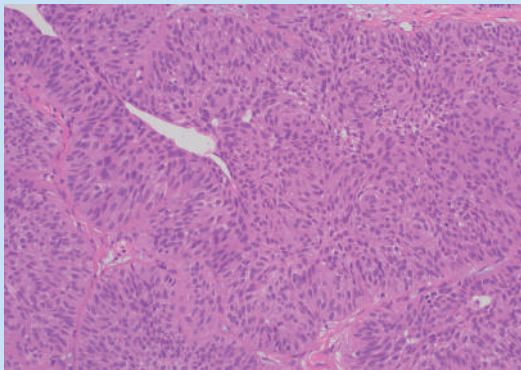
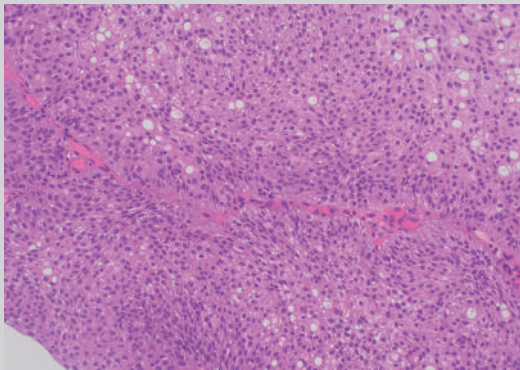
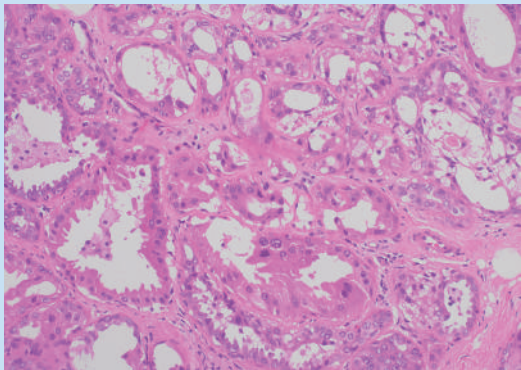
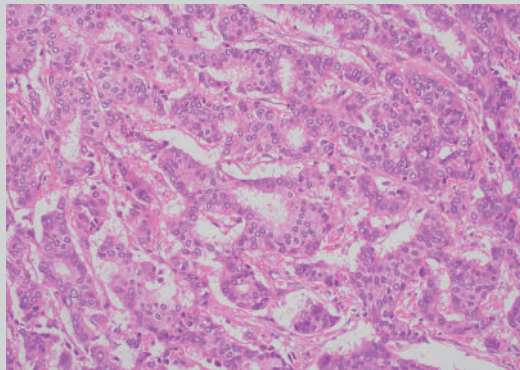
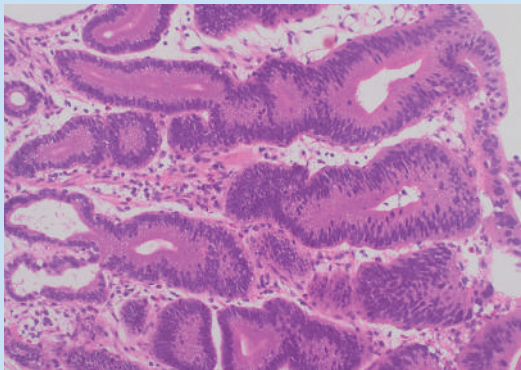
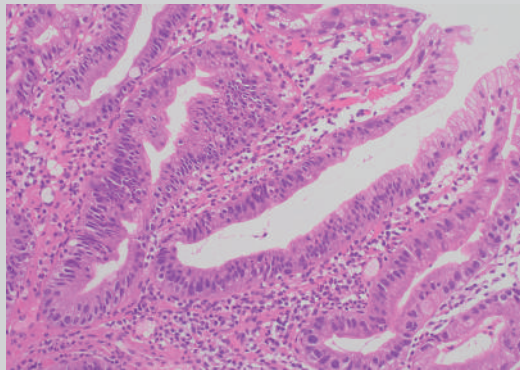
遺伝子検査



例えば大腸がんでは、同じ大腸がんでも患者さんそれぞれに対して遺伝子異常が異なり、KRAS遺伝子に変異があるもの、BRAF遺伝子に変異があるものなどをはじめ、さまざまな遺伝子変異が生じています。当院では、治療に関わるこれらの遺伝子変異を積極的に検索しています。またKRAS遺伝子変異にもさまざまな変異パターンがあり、その違いによって使用する抗がん剤が変わる可能性がありますので、これは非常に重要な検査となります。

良性と悪性の違いを見てみよう

一見、同じように見えても良悪の違いにより患者さんの今後の方針が大きく変わってきます。これらを見極めるのが病理医の仕事です。

良性		悪性
 膀胱 内反性尿路上皮乳頭腫		 乳頭状尿路上皮がん
 乳腺 アポクリン化生を伴った乳管内乳頭腫		 浸潤性乳管がん
 胃 腸型管状腺腫		 高分化型管状腺がん

術中迅速診断に密着



特集 病理診断科

手術中の患者さんの体の中の一部を取ってきて、迅速で病理診断を行います。これにより今行われている手術の方針が決定されます。わずかな時間で、正確な診断が求められます。



The process follows these steps:

- 病理医による切りだしと包埋** (Dissection and embedding by the pathologist)
- アセトン(有機溶媒)で急速凍結** (Rapid freezing with acetone/organic solvent)
- 素早く、かつ丁寧に切ることを心がけています!** (We aim to cut quickly and carefully!)
- 凍結組織切片作製装置による薄切** (Sectioning by cryostat)
- 染色** (Staining)
- 正確な診断には染色の出来が命です!** (The quality of staining is crucial for accurate diagnosis!)
- 複数の病理医による観察・診断** (Observation and diagnosis by multiple pathologists)
- 見落としがないように、神経を尖らせています!** (We sharpen our focus to avoid missing anything!)